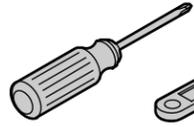


### 必要工具および現場手配品



プラスドライバー



モンキーレンチ



ウエス

その他：

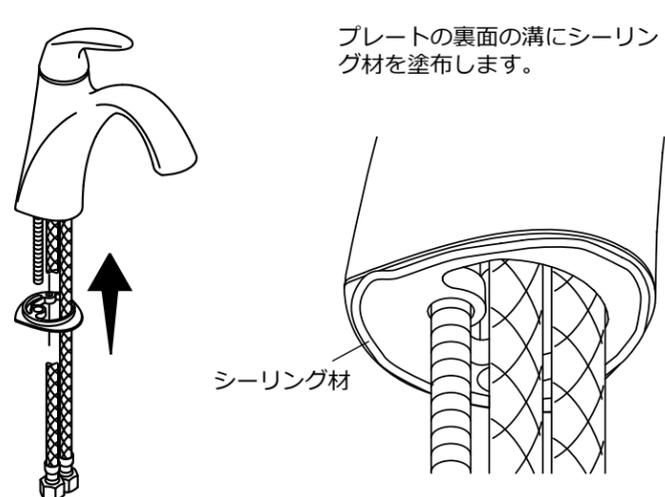
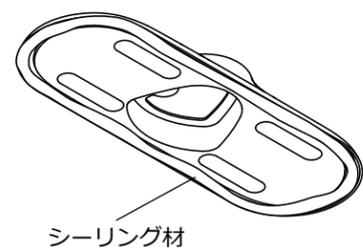
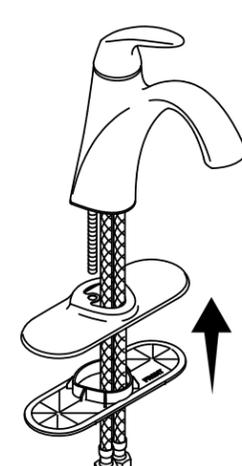
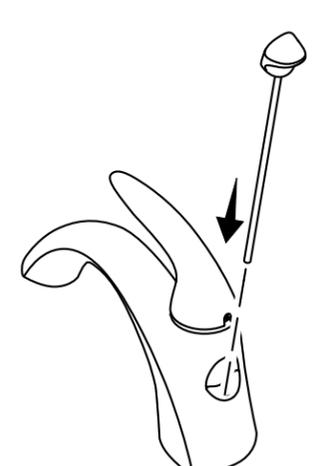
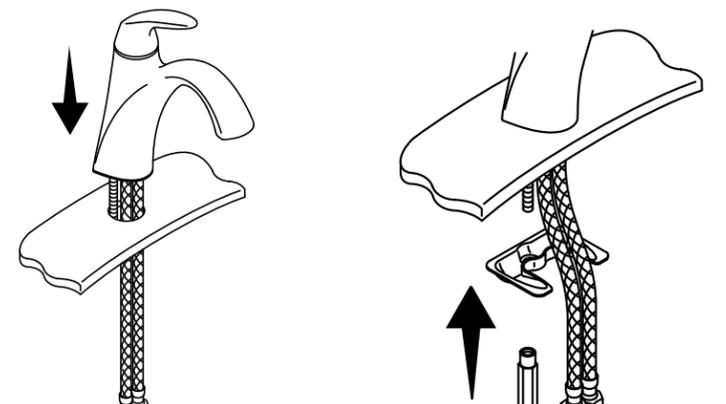
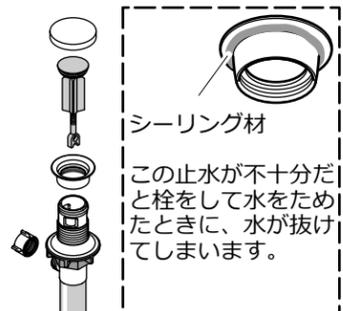
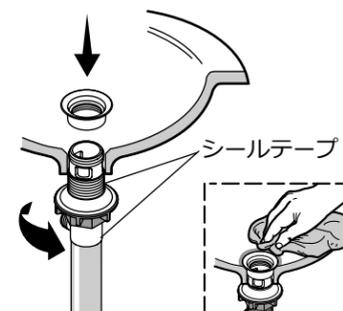
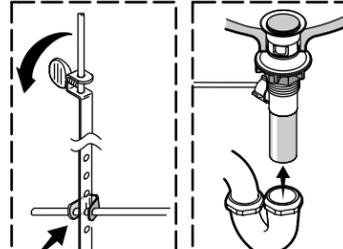
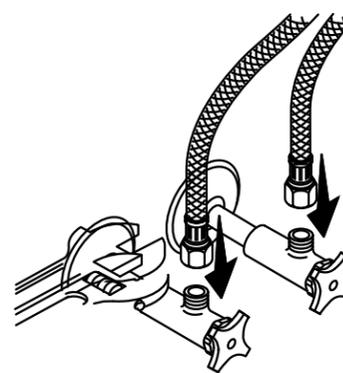
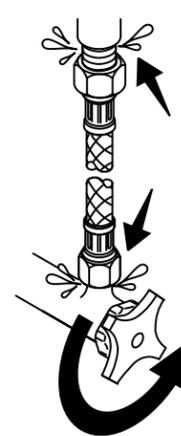
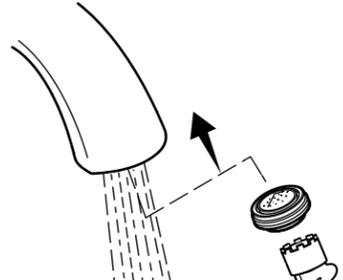
カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

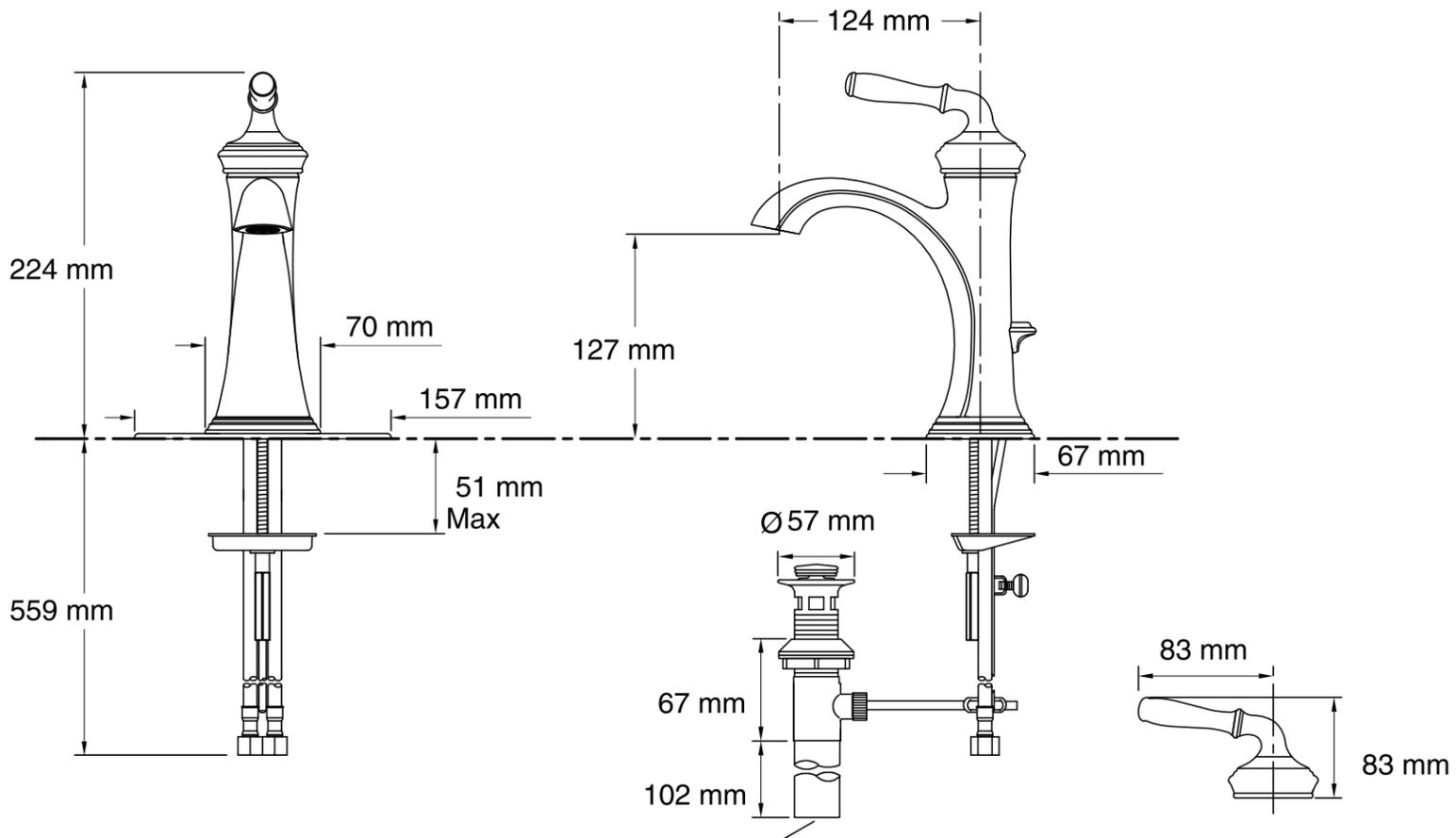
トラップ

Sトラップ

Pトラップ

※国産のφ32のトラップが接続可能です。

|  |  |   |   |   |
|--|--|---|---|---|
| <p><b>重要事項</b><br/>裏面の部品図を参照して同梱品を必ず確認してください。</p> <p>シンク本体の取り付け前に、シンクへの水栓金具の取付をお勧めします。</p> <p>大理石など天然石材製カウンター等は変色等のおそれがありますので石材にあった止水剤をご使用ください。</p>  | <p><b>お知らせ</b><br/>説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。裏面の部品図を参照して該当部品をご確認ください。</p>   | <p><b>1 1穴シンクへの取付準備</b><br/>1穴用プレートを取り付けます。</p>  <p>プレートの裏面の溝にシーリング材を塗布します。</p>  | <p><b>2 3穴シンクへの取付準備</b><br/>エスカッション（台座）の裏面の溝にシーリング材を塗布します。</p>    |   |
| <p><b>2 (つづき)</b><br/>エスカッションを水栓に取り付けます。</p>   | <p><b>3 リフトロッドの取付</b><br/>リフトロッドを水栓の背面の穴に挿し入れます。</p>    | <p><b>4 水栓の固定</b><br/>水栓穴に水栓を挿し入れ、ブラケット、ナットの順にボルトに入れ、ナットを締め付けて、水栓を固定します。</p>    | <p><b>5 排水金具の準備</b><br/>排水金具のフランジを外します。フランジの裏面にシーリング材を塗布します。</p>  <p>シーリング材<br/>この止水が不十分だと栓をして水をためたときに、水が抜けてしまいます。</p> |   |
| <p><b>6 排水金具の取付</b><br/>フランジをシンクの排水穴に押し入れ、排水金具をネジ込みます。袋ナットを締めてシンクに排水金具を固定します。はみ出したシーリング材は水を含ませたウエス等で拭き取ります。排水金具のネジ部にはシールテープ等を施してください。</p>  | <p><b>7 横ロッドの取付</b><br/>横ロッドを図のように排水金具に取り付けます。排水栓下部の穴に横ロッドを通せば取外しができなくなり、通さずに乗せて使用すれば取外しができます。ただし乗せる場合はU字形の溝に横ロッドがはまった状態で排水栓上部のKOHLERロゴが読めるようにネジを調整します。</p>  <p>排水栓の下部はネジで高さ調整可能です。</p> | <p><b>8 ロッドの接続</b><br/>リフトロッドと横ロッドを図のように接続します。リンクキットのネジはプライヤーなどを使用して十分に締めてください。リフトロッドを操作して動きを確認し、排水栓の高さ、横ロッド固定ナットの締め具合を調整します。排水トラップを接続します。</p>  | <p><b>9 給水、給湯の接続</b><br/><u>接続前に十分に洗管し、配管内のゴミを吐き出します。</u><br/>給水、給湯を接続します。</p>   | <p><b>10 水漏れ確認</b><br/>止水栓を開き、バルブまで水をはります。接続部に水漏れがないか確認します。</p>  |
| <p><b>11 通水の準備</b><br/>スパウト先端の泡沫器を外します。</p>    | <p><b>12 通水</b><br/>ハンドルを開き通水します。水漏れがないか確認します。泡沫器を戻します。排水栓を閉めて水をため、フランジの止水に漏れがないか確認します。</p>   |   |   |   |



**Current Faucet Version**  
 For model revisions CB and newer  
 (for revisions AA to CA, see Original Faucet Version)

